

【Mastakos】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

誰よりも速く“動くもの”。オーランスの戦車御者で、移動の神。惑星マスターコス。家持たぬ神。“早足の父”。

■ 概略

マスターコスは「ダリアースの知恵の泉」の底、「海底」で生まれマガスタによって隠されていた。オーランスは移動の力を求めて泉を飲み干し、マスターコスを見つけ捕らえ仲間とした。

オーランス信者によれば黄道を行く四つの惑星の一つ、青く輝く星こそマスターコスであるとされ、文字通りマスターコスと呼ばれている。この惑星は八時間かけて黄道を旅し、旅を終えて沈むと再び東の地平に現れる。

この通り、マスターコスは留まる事を知らない存在だが、過去に一度その足を止めたことがあった。それはオーランスの使いの途中、地獄の獵犬ナラングロスに捕まったためである。マスターコスは鉤に吊るされ、かかとの腱を取れたために自らの足では走れなくなってしまった。しかしオーランスがケロ・フィンの館を襲った犬の神々を退治してみると、中にこのナラングロスがいた。オーランスはマスターコスの腱を取り戻し、これを返した。こうしてマスターコスは癒され、その胸には再び「三本足のしるし」が戻ってきた。

マスターコスは蜻蛉や海馬に引かせた戦車を駆る、青い肌した男として描かれる。

オーランスのカルトとしてはひどく特殊なカルトであり、その信者の数は絶対的に少ない。

■ 異界

組織

■ 相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

神知者分類法

「移動」「移動」

参考文献

- ・『シークレットブック』p.42
- ・『グローランサ神名録』p.-
- ・『グローランサ年代記』p.89

- 『Thunder Rebel』 p.216、 224